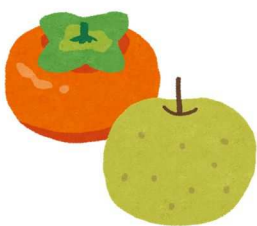




傳設計ニュースレター

CONTENTS

- ◆今、伝えたいこと
～仕事を任せる側の
力量～
- ◆福岡の未来を見据えた
提案 ～旧大名小学校
跡地活用～
- ◆応急危険度判定
- ◆今が旬！！
「事業所内保育所」の
助成金
- ◆第26回創立記念式典
- ◆インターンシップ受け入れ
- ◆社員名鑑
- ◆会社情報



今、伝えたいこと ～仕事を任せる側の力量～

随分と秋の気配を感じるようになりました。いかがお過ごしでしょうか？

さて、毎年9月は、弊社のほど近くにあります香椎浜にて「Fukuoka東区花火大会」が行われます。弊社では、それに併せて、日ごろお世話になっております協力会社様をお招きし、ささやかながら懇親会を行っております。社屋の広さなどの都合から、ほんの一部の方々しかお呼びできませんが、社屋の屋上でお昼からバーベキューやお酒を楽しみながら、夜には花火を眺めるという恒例行事です。しかし、今年は台風が近づいており、前日のお昼には早くも「花火大会は中止」との連絡がありました。花火は上がりませんが、時間を変更し、懇親会のみ行うことにいたしました。そして、私の読み通り、当日は台風の影響はほとんどなく、外でバーベキューもできました。結果的に花火も打ち上げられたのではないかとも思いますが、各所の安全に配慮された主催者側の判断なのでしょう。

話が逸れましたが、肝心の懇親会は、今年はビンゴ大会も行い、大盛況のうちに幕を閉じました。例年のことですが、バーベキューの準備や料理を作って…と、社員皆で朝から慌しく準備をしています。その様子を見ていて、少しずつですが、皆が「自分で考えて動けるようになってきた」と感じました。私は常々、「自分以外に任せられる人がいない」とは考えたくないと思っています。もし、本当に任せられる人がいないと言うのなら、それは己の力不足で育てられていないからであると考えています。今回の花火大会で、若い社員も何をすべきか自ら考えて動いている姿が頼もしく、嬉しく思いました。と、同時に、「任せる側」にも指示や説明の仕方など、課題が見えてきました。たとえ私がいなくても、安心して任せられる社員を育てていきたいと思っています。

社員も一生懸命準備をしてくれましたが、まだまだ料理や対応の反省点は多々ございます。しかし、皆さまの楽しそうな顔や温かいお言葉を頂戴いたしまして、日ごろの感謝を込めてお招きしているつもりですが、皆さまの温かい支えがあった弊社であることを改めて感じ、感謝の気持ちを深めました。急遽時間を変更したにもかかわらずお越しいただいた皆さまには心より感謝申し上げます。来年こそは皆で花火を楽しめればと思います。（代表取締役 岩本 茂美）



★花火大会での一コマ★

岩本 茂美（いわもと しげみ）

株式会社傳設計 代表取締役

《最近のこと》

夏に研修旅行で北海道へ。福岡空港から新千歳空港までの二時間強はあっという間で、その日のうちに札幌に着きました。翌日は桂GC、翌々日はニドムGCでの朝早くからのゴルフで、雄大な景色を前に、爽快な気分になりました。



★ゴルフ場に鹿が・・・★

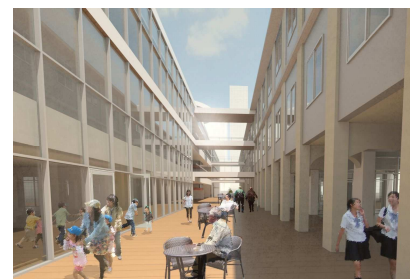
★福岡の未来を見据えた提案 ～旧大名小学校跡地活用～★

先日、福岡市の「旧大名小学校跡地に関する民間提案公募」に応募しました。これは中央区にある旧大名小学校跡地をどのように活用すればよいか、福岡市から民間にアイデアを求めるものです。最終的には事業者を決定しますが、今回の公募は提案までになります。

私たちは、この福岡市からの問いかけに、福岡の地場の企業として、一市民として、まちの未来について真剣に考え、一つの答えを出しました。

今回の提案で欠かせないのが、天神ビッグバンのプロジェクトの一つであるということです。天神ビッグバンとは、若い世代の開業・起業希望者が全国的に見ても多い福岡市の現状から、天神地区の建物の高さや容積の緩和を行い、企業の受け皿を増やしていこうという動きです。更にそれに伴い、様々な整備を行うことで人・モノ・コトが交流する空間の創出を図るというプロジェクトです。それに対してまず考えたのが、企業の受け皿というハードを確保したとしても、そこに入るソフト、つまり人は

確保できるのかということです。開業・起業希望者、福岡で働きたいと思う人を継続的に生み出すために、起業希望者の支援や働くことを身近に感じることができると天神ビッグバンの「STEP ゼロ」となる場が必要であると考えました。また、天神ビッグバンの中で本計画地は「西のゲート」と位置付けられています。ヒューマンスケールで個性的なお店が豊富な大名地区や自然・歴史のある大濠公園・舞鶴公園地区、そして交通や賑わいの拠点である天神地区をつなぐ場となるべきと考えました。この2つを軸として計画を行いました。



★校舎と新設建物の間は 大名小ストリート★

建物は校舎部分と新設部分の大きく2つに分かれていて、校舎は共同工房や若手起業家向けのテナントなど、インキュベーション施設としての利用とし、新設部分はテナントやオフィス、地下の食品売り場、事業所内保育所などの収益部分に加え、公民館や企業・観光情報施設、広場など公共空間を計画しました。(他提案は完全版にて)

また、事業化という点で考えると、高層化や密度を上げて収益部分を増やすという方法もあります。しか

傳設計 設計業務

し、大名小学校という空間やそこで過ごしてきた人たちの歴史をつなぐためにはどうあるべきか。公共空間や施設を設ける中で、高層化や高密度化が正解なのか。新たな建物そして福岡の未来がどのようにあるべきか。試行錯誤の結果、私たちの提案は、校舎と同じ3層の低層でヒューマンスケールなパブリック空間を中心とした計画にたどり着きました。

今回の提案は、普段の設計に比べると、敷地、周辺地域だけでなく福岡の未来について考え、ものすごく広い視野が必要でした。福岡の未来がどうあるべきか、ハードの部分だけでなくソフトの部分も検討を行い、たくさん悩み、答えを出しました。それは、より福岡を知る良いキッカケになりました。皆さんも、お住まいの地域の未来について、考えてみてはいかがでしょうか。(成尾)

Zero Stage ～始まりの始まりが生まれるステージ～

1. 企業家の脚を生み出す「STEP 0」の魂
2. 周辺地区の個性を学ぶ
3. 創造性
4. 防災性

★実際に提出した提案概要書★
(完全版を見たい方はお問い合わせください)

★応急危険度判定★

熊本地震が発生して半年になります。被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。地震発生後、弊社では県や建築士事務所協会からの要請に応え、応急危険度判定や罹災証明発行の補助業務に協力させていただいています。



★建物に掲示するステッカー★

応急危険度判定とは、被災直後に建物の崩壊・倒壊による2次災害の危険性を判定し、住民や救助・復旧活動をされる方々の安全を確保するものです。弊社には判定士が少ないため、10月に行われる講習会に社員数名で参加し、判定士を増やす予定です。



★建物基礎の傾斜調査★

罹災証明発行の補助業務は本来、地方自治体で行われる業務ですが、建物ごとの被災状況を詳細に調査する調査員が不足しているため、微力ながらお手伝いをさせて



★屋上からの調査...と、ちょっと一息★

いただいています。調査に何うと、大変な状況の中で生活されており、少しでも早期の生活の立て直しの役に立てたらと思います。

その他、被災した建物の安全性を確認する被災度区分判定も行っています。これは被災建物を継続して使用していくにあたり、建築士が建物の部材調査・被災状況の調査・耐震診断計算を行い、建物に補強が必要か確認するものです。今後も耐震診断や被災度区分判定を進め、安心して建物を使用できるお手伝いをしたいと思います。(八尋)

NEW&HOT TOPIX

現在、日本では人口減少に伴う労働人口の減少等から、女性の就業率が上昇しています。女性が活躍できる環境を整えることが、企業の成長につながる時代が到来しています。政府はこの現状に対して、平成28年度より新しい政策を打ち出しました。それが「企業主導型保育事業」です！今までは事業内保育所を行う場合、十分な助成を受ける制度がなく採算が合わない...という問題がありました。しかし、この政策は助成を



★セミナーの様子(広島)★

十分に受けることができます。そんな中、私たちは「事業所内保育所セミナー」を開催しました。多くの企業様に参加して頂き、ある事業者様にはファーストプラン(弊社の設計コンセプト等をまとめたもの)を申し込んでいただきました。



★ファーストプラン★

保育所は保育方針により、部屋の区画方法や必要諸室などが異なります。そのため、まずはお客様自身に要望を整理して頂く必要があります。事業所内保育所の場合は、保育所のことを全く知らないお客様

も多いため、私たちはファーストプランにてベーシックな計画を提案し、具体的なイメージを持って頂きます。その後、要点チェックシートにて要望を丁寧にまとめることで、要点をお客様と共有し計画に反映します。

事業所内保育所の整備による社員様の働く環境整備、新たな採用効果、地域貢献など、設計者として社会貢献できればと思います。

皆様もこの機会に新たな事業展開を考えてみてはいかがでしょうか？(深堀)



★相談をお受けしている様子★

★今が旬！！「事業所内保育所」の助成金★

★第26回創立記念式典★

去る8月1日に、弊社は26回目の創立記念式典を行いました。弊社の歴史や今の現状を振り返りながら、これからどう進んでいくべきなのか、社長や各部長より話がありました。また、一年間、社内のいろんな業務でがんばった社員、今後に期待された社員、永年勤続の社員に対し、表彰がありました。社長が一つ一つの表彰案件にコメントしており、表彰された社員はうれしそうな表情を浮かべていました。その他にも、式典では、毎年社員による過去一年の代表物件の実績発表があり、紆余曲折を経た結論や設計に対する社員の考えが述べられるのですが、それを楽しみにしている社員も多く、今年も例年通り、興味をひかれる発表となりました。おいしいお酒とお食事をいただいたあとは、式典にいられたお取引先の方と一緒に中洲へ。一年の労をねぎらい、ねぎらわれ、最後には代わる代わるメドレーを歌っていました♪(古屋)



★社長熱弁中★



★表彰される社員たち★

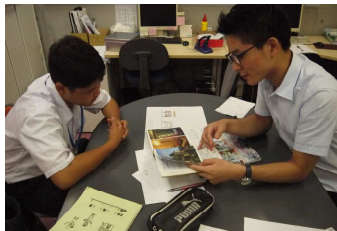
★インターンシップ受け入れ★

今年の弊社のインターンシップは初めて受け入れを行った高校生を皮切りに、中学校2校、大学生も数名と、例年以上にたくさんの学生さんにお越しいただきました。学校が夏休みのこの時期、会社は常に学生さんがいる空間となりました。

中学生には、弊社が手がけた物件の立面図を、それがどんな建物なのかお伝えせず、自分で考えていただき、外装のコンセプトを決めて、色塗りを行っていただきました。実際は病院の建物だったのですが、レストランや図書館など、実物とはまったくちがったものを発想されていて、そのユニークな発想に私たち社員も驚きました。今回お越しいただいた中学生は、設計やインテリアに興味があると伺っていましたが、後日お手紙で「設計に関わりたいという気持ちをもっと強くなった」という嬉しいお言葉をいただきました。いつかまたどこかでお会いできるといいですね。将来、職業選択の際に、少しでもこのインターンシップがお役に立てれば嬉しく思います！(澤田)

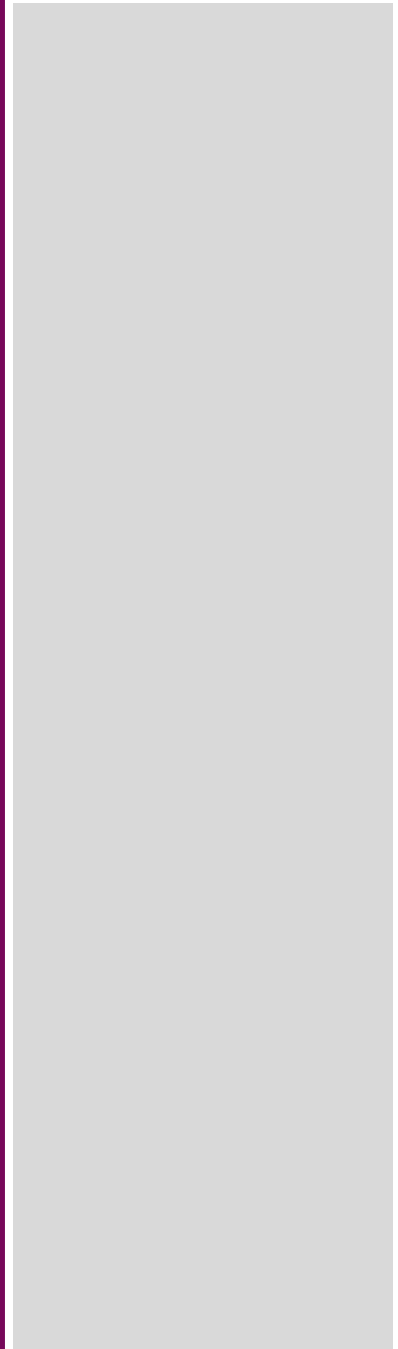


★インターンシップの様子(1)★



★インターンシップの様子(2)★

社員名鑑 vol.20



◆ 編集後記／／／ニュースレターが今号で20号となりました。発行を始めた当初、「100号の発行は、私が定年退職する頃かも」なんて話していましたが、それを思えば、20号なんてまだまだ。これからも皆様に興味を持って目を通していただけるようなものにしたいと思っています。記事にしてほしいことがありましたら、同封のアンケートをFAXでお送りください。皆様からのご意見、ご感想をお待ちしております。／古屋



「想い・安全・未来をカタチに」
株式会社 傳設計
DEN ARCH. & ENG. OFFICE

<本社>

ADD:福岡市東区香椎駅前2-1-15

TEL:092-672-8538 FAX:092-672-8559

<サテライトオフィス>

ADD:福岡市東区香椎駅前2-12-41 302

TEL:092-692-4555 FAX:092-672-8559

